

内水による被害軽減対策の進捗状況を確認

～第6回 由良川大規模内水対策部会を開催～

福知山河川国道事務所

由良川大規模内水対策部会は平成30年7月豪雨の内水による浸水被害を受けて設立され、下流部輪中堤地区及び中流部の内水による浸水被害軽減対策の取組を行っています。

第6回部会では関係機関が連携して進めている由良川流域における浸水被害軽減対策について取組の進捗状況の確認を行いました。

- 日 時 : 令和3年5月24日(月) 13時00分～13時45分
- 場 所 : WEB開催
- 部会委員 : 福知山市長、舞鶴市長、綾部市長、宮津市長、京都府建設交通部長、京都地方気象台長、福知山河川国道事務所長
- 議 事 : ①各機関の取り組みの進捗状況の確認 ②今後の予定

各機関の取組状況(抜粋)

<福知山市>

避難行動開始のスイッチとなる基準水位を設定。5月より市独自の防災アプリを開発、運用を開始。マイマップ・マイタイムラインを作成、訓練に活用、避難の実践につながるよう取組を継続します。

<舞鶴市>

内水ハザードマップ、避難行動タイムラインは、地元と協議を進め引き続き作成に取り組みます。ビッグデータ+AIによる街全体の効率的な見守りの実現を目指し、「舞鶴市総合モニタリングシステム」の開発を進めます。

<綾部市>

避難の実効性を高めるために、防災講座等において自治会長に、避難行動タイムラインの作成をお願いします。市職員等が作成支援を実施。引き続き地域全域に向けて取組みます。

<宮津市>

由良川の河川整備計画に対する地域住民との合意を図り、由良川本川の治水対策と市の内水対策の整合を図ります。

<京都府>

大野ダムの事前放流目標水位を従来の標高155mから150mまで引き上げる取組に着手、昨年度実証実験の実施。今年度6月1日から本格運用の予定です。

<京都地方気象台>

洪水警報の「危険度分布の表示改善」について湛水型の内水氾濫の危険度を常に確認できるよう、表示方法の改善を実施しました。

<福知山河川国道事務所>

内水被害の軽減、排水処理設備の確保として、ポンプやホースがセットになった排水ポンプパッケージを配備しました。



防災アプリの機能紹介【福知山市】



内水ハザードマップ【舞鶴市】



洪水警報の危険度分布【京都地方気象台】



由良地区雨水排水計画図【宮津市】



排水ポンプパッケージ【福知山河川国道事務所】

【問い合わせ先】

国土交通省 近畿地方整備局 福知山河川国道事務所 調査課
〒620-0875 福知山市字堀小字今岡2459-14 TEL 0773-22-5104 (代表)

